

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 7 年 4 月 1 日(2025.4.1)

【公開番号】 特開 2023-166480(P2023-166480A)
【公開日】 令和 5 年 11 月 21 日(2023.11.21)
【年通号数】 公開公報(特許)2023-219
【出願番号】 特願 2023-140288(P2023-140288)
【国際特許分類】

A 6 1 B 5/026(2006.01)
E 0 3 D 9/00(2006.01)
A 6 1 B 5/0285(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 B 5/026 1 2 0
E 0 3 D 9/00 Z
A 6 1 B 5/0285 H

【手続補正書】

【提出日】 令和 7 年 3 月 24 日(2025.3.24)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

使用者が着座する便座と、
前記着座に設けられ、前記使用者が着座すること及び離座することを検知する着座センサと、
前記使用者の少なくとも 1 つの健康指標を算出する健康指標算出部と、
前記健康指標算出部によって算出された前記少なくとも 1 つの健康指標を出力する健康指標出力部と、
を備え、

30

前記健康指標算出部は、前記着座センサの検知結果に基づいて、前記使用者が前記便座に着座してから離座するまでの着座時間に応じて、前記少なくとも 1 つの健康指標を算出するようになっており、

前記健康指標出力部は、前記着座センサの検知結果に基づいて、前記使用者が前記便座に着座してから離座するまでの着座時間が所定時間よりも短かった場合には、前記少なくとも 1 つの健康指標を出力しないようになっていることを特徴とするトイレシステム。

40

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つの健康指標は、第 1 健康指標及び第 2 健康指標を含んでおり、
前記健康指標算出部は、前記使用者が前記便座に着座した状態で第 1 所要時間をかけて前記第 1 健康指標を算出するようになっており、且つ、前記使用者が前記便座に着座した状態で前記第 1 所要時間よりも長い第 2 所要時間をかけて前記第 2 健康指標を算出するようになっており、

前記健康指標出力部は、前記着座センサの検知結果に基づいて、

(1) 前記着座時間が前記第 1 所要時間に到達していない場合には、前記第 1 健康指標及び前記第 2 健康指標のいずれも出力せず、

(2) 前記着座時間が前記第 1 所要時間以上であるが前記第 2 所要時間には到達していな

50

い場合には、前記第 1 健康指標を出力する一方で、前記第 2 健康指標については出力せず、

(3) 前記着座時間が前記第 2 所要時間以上である場合には、前記第 1 健康指標及び前記第 2 健康指標の両方を出力するようになっている

ことを特徴とする請求項 1 に記載のトイレシステム。

【請求項 3】

使用者が着座する便座と、

前記着座に設けられ、前記使用者が着座すること及び離座することを検知する着座センサと、

を備えたトイレシステムを用いて健康指標を提供する方法であって、

前記使用者の少なくとも 1 つの健康指標を算出する健康指標算出工程と、

前記健康指標算出工程によって算出された前記少なくとも 1 つの健康指標を出力する健康指標出力工程と、

を備え、

前記健康指標算出工程では、前記着座センサの検知結果に基づいて、前記使用者が前記便座に着座してから離座するまでの着座時間に応じて、前記少なくとも 1 つの健康指標が算出されるようになっており、

前記健康指標出力工程では、前記着座センサの検知結果に基づいて、前記使用者が前記便座に着座してから離座するまでの着座時間が所定時間よりも短かった場合には、前記少なくとも 1 つの健康指標が出力されないようになっている

ことを特徴とする方法。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つの健康指標は、第 1 健康指標及び第 2 健康指標を含んでおり、

前記健康指標算出工程では、前記使用者が前記便座に着座した状態で第 1 所要時間をかけて前記第 1 健康指標が算出されるようになっており、且つ、前記使用者が前記便座に着座した状態で前記第 1 所要時間よりも長い第 2 所要時間をかけて前記第 2 健康指標が算出されるようになっており、

前記健康指標出力工程では、前記着座センサの検知結果に基づいて、

(1) 前記着座時間が前記第 1 所要時間に到達していない場合には、前記第 1 健康指標及び前記第 2 健康指標のいずれも出力されず、

(2) 前記着座時間が前記第 1 所要時間以上であるが前記第 2 所要時間には到達していない場合には、前記第 1 健康指標が出力される一方で、前記第 2 健康指標については出力されず、

(3) 前記着座時間が前記第 2 所要時間以上である場合には、前記第 1 健康指標及び前記第 2 健康指標の両方が出力されるようになっている

ことを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

使用者が着座する便座と、

前記着座に設けられ、前記使用者が着座すること及び離座することを検知する着座センサと、

を備えたトイレシステムを用いて健康指標を提供するプログラムであって、

当該プログラムがコンピュータによって実行されることにより、

前記使用者の少なくとも 1 つの健康指標を算出する健康指標算出工程と、

前記健康指標算出工程によって算出された前記少なくとも 1 つの健康指標を出力する健康指標出力工程と、

を実施可能であり、

前記健康指標算出工程では、前記着座センサの検知結果に基づいて、前記使用者が前記便座に着座してから離座するまでの着座時間に応じて、前記少なくとも 1 つの健康指標が

10

20

30

40

50

算出されるようになっており、

前記健康指標出力工程では、前記着座センサの検知結果に基づいて、前記使用者が前記便座に着座してから離座するまでの着座時間が所定時間よりも短かった場合には、前記少なくとも1つの健康指標が出力されないようになっていることを特徴とするプログラム。

【請求項6】

前記少なくとも1つの健康指標は、第1健康指標及び第2健康指標を含んでおり、

前記健康指標算出工程では、前記使用者が前記便座に着座した状態で第1所要時間をかけて前記第1健康指標が算出されるようになっており、且つ、前記使用者が前記便座に着座した状態で前記第1所要時間よりも長い第2所要時間をかけて前記第2健康指標が算出されるようになっており、

10

前記健康指標出力工程では、前記着座センサの検知結果に基づいて、

(1) 前記着座時間が前記第1所要時間に到達していない場合には、前記第1健康指標及び前記第2健康指標のいずれも出力されず、

(2) 前記着座時間が前記第1所要時間以上であるが前記第2所要時間には到達していない場合には、前記第1健康指標が出力される一方で、前記第2健康指標については出力されず、

(3) 前記着座時間が前記第2所要時間以上である場合には、前記第1健康指標及び前記第2健康指標の両方が出力される

ようになっている

20

ことを特徴とする請求項5に記載のプログラム。

30

40

50